

## 主な就職先

### 総合建設業（ゼネコン）

(株)安藤・間、(株)大林組、鹿島建設(株)、(株)熊谷組、五洋建設(株)、JFEシビル(株)、清水建設(株)、新日本建設(株)、スターツグループ、大成建設(株)、大和小田急建設(株)、(株)竹中工務店、東急建設(株)、戸田建設(株)、西松建設(株)、(株)フジタ、前田建設工業(株)、三井住友建設(株)、松村組(株)、鉄建建設(株)、大東建託(株)など

### 建築設計事務所

(株)梓設計、(株)アトラス設計、(株)石本設計事務所、(株)伊藤喜三郎建築研究所、(株)金子設計、(株)交建設計、(株)構建設計研究所、(株)奥野設計、(株)久米設計、(株)JR東日本建築設計事務所、(株)sheep構造工学研究所、(株)日本設計、光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所(株)、(株)山下設計、(株)ヨシザワ建築構造設計、(株)RISE構造設計事務所、(株)SALHAUS、奥野公章建築設計室 など

### 建築設備関連（空調・給排水など）

オーク設備工業(株)、(株)関電工、関東冷機(株)、(株)九電工、三機工業(株)、三建設備工業(株)、(株)JBC、新日本空調(株)、ダイキンエアテクノ(株)、(株)大気社、第一工業(株)、ダイタン(株)、高砂熱学工業(株)、タカラスタンダード(株)、東洋熱工業(株)、東京ガス横浜中央エネルギー(株)、新菱冷熱工業(株)、日本設備工業(株)、日比谷総合設備(株)、菱和設備(株)など

### 不動産・ハウスメーカーなど

(株)アキュラホーム、(株)一条工務店、ウスイホーム(株)、(株)小田急ハウジング、スウェーデンハウス(株)、住友不動産リフォーム(株)、住友林業ホームテック(株)、積水ハウス(株)、大和ハウス工業(株)、(株)東急ホームズ、トヨタホーム(株)、ナイス(株)、パナホーム(株)、ミサワホーム(株)、(株)LIXIL住宅研究所 など

### 公務員

荒川区役所、大田区役所、小田原市役所、川崎市役所、木更津市役所、佐賀県庁、相馬市役所、沼津市役所、町田市役所、横浜市金沢区役所、横須賀市役所 など

### その他

パナソニック(株)、(財)ベターリビング(独)都市再生機構、(株)シミズ・ビルライフケア、マンション共同検査機構(株)など

### 大学院への進学

関東学院大学大学院工学研究科 など

## 受験できる資格

建築士(1級、2級、木造)、建築設備士、消防設備士(甲種、乙種)、インテリアプランナー、コンクリート技士・コンクリート主任技士、コンクリート診断士、建築施工管理技士(1級、2級)、土木施工管理技士(1級、2級)、建設機械施工技士(1級、2級)、機械設計技術者(3級)、技能士(2級、3級)、空気調和・衛生工学会設備士、衛生工学衛生管理者、技術士(補)・技術士、高等学校教諭一種(工業) など

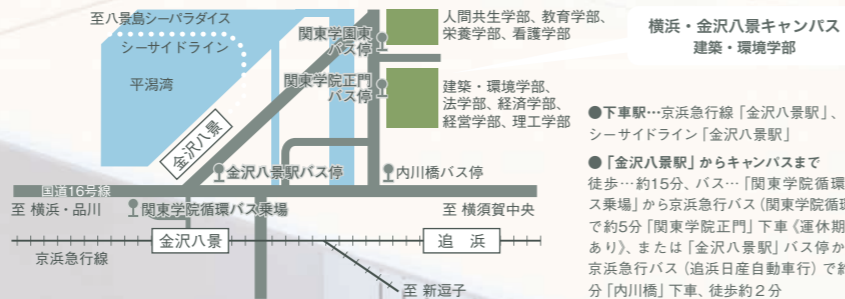
## 関東学院大学 建築・環境学部

お問い合わせ アドミッションセンター(横浜・金沢八景キャンパス)  
TEL: 045-786-7019 E-mail: nyushi@kanto-gakuin.ac.jp



最新情報は建築・環境学部 webサイトから  
<http://arch-env.kanto-gakuin.ac.jp/>

〈入試サイトはこちら〉 <http://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>



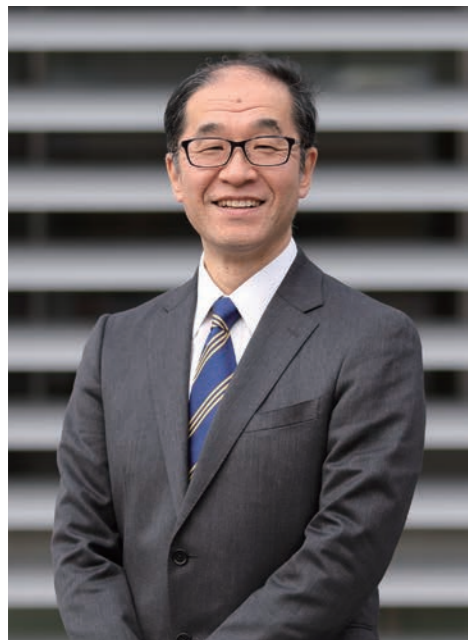
# 建築



# 環境学部

# 関東学院大学





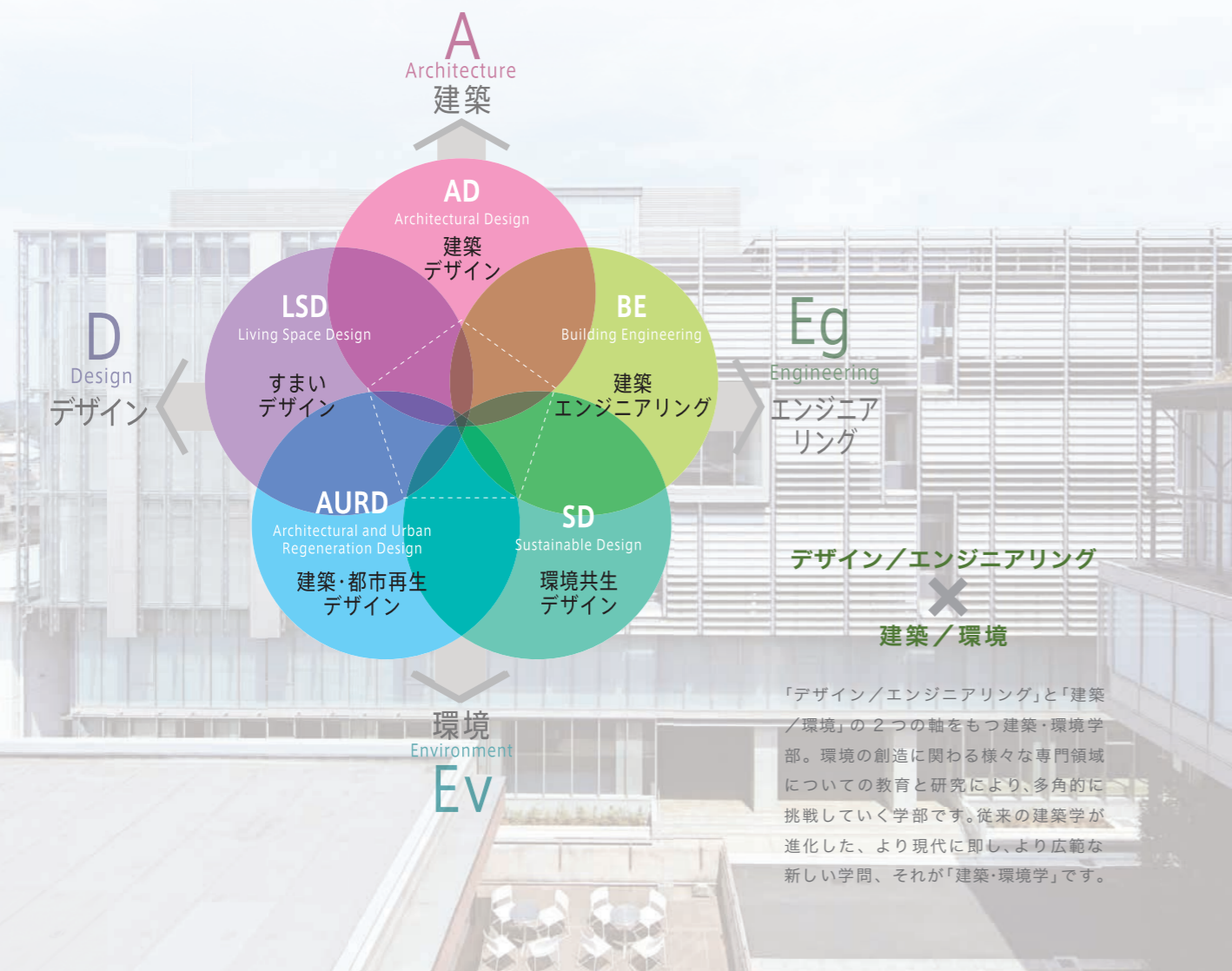
建築を学ぶには、自然科学や工学などの理系の視点のみではなく、芸術や思想、歴史などの文系の視点も取り入れ、総合的に思考できる能力を養うカリキュラムとそれを実施する環境が必要です。本学部では従来の建築学に対し、過去から現在・未来へ持続する「時間」と、われわれをとりまく全ての「環境」という2つの軸を新たに加えた「建築・環境学」という学問フレームを提唱し、そこから多角的に展開した5つのコースを設定しました。また、建築・環境学の学びの場にふさわしく、様々な環境共生技術を取り入れた持続可能な(サステイナブルな)校舎も新築しました。このようにソフト、ハードがともに充実した教育環境のもと、現代社会が抱える諸問題に立ち向かい、新たな建築空間を総合的に創造できる力を身につけた学生を輩出してゆきます。

建築・環境学部長 大塚 雅之



## 文系と理系の視点の融合から生まれる 新たな建築・環境を創造する

1



2



建築・環境学部ウェブサイトでは、各授業をブログで紹介していますので、是非ご覧ください。  
<http://arch-env.kanto-gakuin.ac.jp/lessons-blogs>

# 建築・環境学の基礎を学ぶ

## 1・2年次

各分野の基礎科目（必修科目）・選択科目で学んだ内容を、演習科目（建築設計製図）を通じて総合的に身につけていきます。

### 建築設計製図Ⅰ～Ⅳ

1・2年次の4セメスターを通じた必修科目です。建築物の設計において図面（設計図）がもつ重要な役割を理解し、製図課題を通して、建築製図法の基礎をマスターするとともに、建築設計の基本的・応用的な事項を習得します。



### 理工学概論

建築・環境学の全体像をテーマとした必修科目です。各専門分野の概要および最新動向、また各分野相互の関連性を把握します。

### 建築計画・デザイン基礎

建築設計のありかたや空間の客観的・概念的な捉え方など、建築計画及び建築デザイン分野の基礎的知識・手法を習得します。

### フレームの力学基礎

建築に作用する力の種類、建築構造材料・構造システムの種類と特徴、構造計算方法の基礎知識を習得します。

### 建築生産・材料基礎

建築を作る上で不可欠な労働力・生産システム・工程等を学び、建築材料を理解する上で基礎となる諸事項を習得します。

### 建築環境・設備基礎

熱・空気・光・水などの環境要素および建物の機能を果たすために不可欠な建築設備についての基礎知識を習得します。

### 共通科目・専門基幹科目

共通科目では、建学の精神、多文化理解につながる教養、興味・関心のある事柄について幅広く学び、「総合英語」を中心とした語学を通して、コミュニケーション能力を身につけます。専門基幹科目では、数学・物理等の基礎を理解し、活用方法を学びます。

### 総合英語

リーディング、リスニング、オーラルコミュニケーション、ライティングの各授業で、英語の基礎力を習得します。

### キリスト教学

聖書の学的理解と倫理思想などの概説を通し、キリスト教への正しい知的理解を深め、建学の精神・校訓を学びます。

### KGUかながわ学

学内外の専門家が講義を担当し、それぞれの分野で地元・神奈川の特色ある魅力や地域課題などについて理解を深めます。

# 実践的な学びへ展開

## 3年次

プレゼンテーション重視の少人数制による学び

## 4年次

コース内の専門に分かれてゼミナール+卒業研究



コース選択

選択科目 コースにとらわれず、自分に必要な科目を選択

デザイン分野	構造分野	材料・施工分野	環境・設備分野
<b>すまいデザイン論</b> 人々の暮らしの器である「住宅」に求められる機能と形式と意味、その設計の手法とプロセスなどを学びます。	<b>アーバンデザイン</b> 都市がどのように創られてきたかを学ぶと共に、これからの都市をいかに再生させるべきかについて考えます。	<b>近代建築史</b> 現代に直接つながる「近代」の建築の歴史を通して、科学、技術、文化、諸芸術や社会との関係を理解します。	<b>建築構造実験</b> 建築構造として一般的鉄筋コンクリート造、鉄骨構造による骨組の性能を実験によって検証します。
<b>建築環境デザイン</b>	<b>構造解析学</b> 建築構造物の変形と力の伝わり方をコンピュータ上で計算する方法を学び、計算演習を実施し身につけます。	<b>建築病理学</b> 建物を長もちさせるために必要な建物各部の劣化診断方法や維持保全方法について学びます。	<b>ファンリテイ・マネジメント</b> 建物が完成した後に、経済的に建物を管理、運営するマネジメント手法の基礎知識を修得します。
<b>建築環境共生デザイン</b>	<b>建築・地球環境論</b> 建物内の環境（熱・空気・光・水など）が地球環境に及ぼす影響について学び、環境にやさしい建築を考えます。	<b>建築・環境エネルギー</b> 地球環境に配慮したクリーンなエネルギー供給のための先端技術について、実例を使って学びます。	<b>建築設備リニューアル</b> 既存の建物内の設備や配管の劣化を診断し、そのリニューアル手法を実例を用いて理解します。

## 建築デザインコース

人間生活の場としての建築の可能性を探る

工学、人文、社会、芸術などの総合的産物であり、かつ人間生活の場でもある建築。地域の文脈を考え、住宅をはじめ、学校建築、集合住宅、地域施設、複合施設など、様々な種類の建築物の計画と設計手法を、スタジオワークを中心とした演習課題を通じて学んでいきます。

### 文系出身の私でも諦める必要はなかったです

#### ー建築・環境学部に入学した理由は？

高校に入学した頃はデザインやアートに興味がある文系だったのですが、2年生の時に世界的に著名な女性建築家ザハ・ハディッドさんが手がけた建物に衝撃を受け、建築に興味を持ち建築系のオープンキャンパスに行きました。しかしほとんどの大学は理系でなければ難しい雰囲気だったので諦めかけていたのですが、この大学の建築・環境学部は文系出身でも積極的に受け入れてくれる方針だったので、それが決め手となり入学しました。

#### ーこれまで、どんな授業に興味を持ちましたか？

建築設計製図(1,2年次)も楽しかったのですが、その後に学んだハウジングスタジオ(3年次)や建築・都市デザインスタジオ(4年次)がより興味深かったです。

#### ー所属コースでは、どんなことを学びましたか？

建築全体について学ぶことができるのでこのコースを選択しました。横浜橋商店街近くの大通り公園に建築要素を加え自分なりに設計することや、コミュニティセンターを作るという課題を行った際、周辺環境も見なければ建築物を設計することは出来ないことを学びました。

#### ー将来の夢は？

グローバルに活躍でき、建築で人々の心を動かしていく建築家になりたいです。

#### ー関東学院大学、建築・環境学部はどんなところですか？

先生方との関わり合いが深くなっていくにつれ、距離がだんだん近くなっていける学部ですし、先輩後輩の仲が良いので話しかけやすい雰囲気も特徴だと思います。

#### ー入学希望の方へメッセージをお願いします。

最初は大げさになってしまうこともありますが、それは当たり前のことです。ゆっくりと確実に努力していくことで必ず結果が伴います。あと、先生方には積極的に質問しましょう。

イクラサリームさん

#### 建築デザインコース

集合住宅、図書館などの公共施設や地域に必要な施設など、より公共性の高いスケールや規模の課題に取り組むコースです。建築のデザインにあたり、その土地の歴史や風土、その建築を取り巻く環境、さらには未来を見越したニーズなどを理解することも、このコースの目標です。いま、建築が社会の中でどのように位置づけられているかを総合的に学びます。(写真左、右：3年次「地域施設デザインスタジオ」の優秀作品)



## 建築・都市再生デザインコース

ひとが主人公の建築や都市の再生を考える

スクラップ&ビルドの消費型社会から、今ある建物を有効活用していく社会へ。最新技術を用いて古くなった建物を美しく甦らせたり、住民との対話を通して新しいまちづくりを提案するなど、周辺環境と共存するための理論や方法を学びます。

### まちづくりや都市再生の仕事に携わっていききたい

#### ー建築・環境学部に入学した理由は？

小学6年生頃に黒川紀章さんが設計された建造物をテレビで拝見し、感銘を受けたことがきっかけで建築に興味を持ちました。その頃から建築関係の仕事に進みたいと考えていたので、建築・環境学部に入学をしました。

#### ーこれまで、どんな授業に興味を持ちましたか？

2年次に学んだ不動産学基礎やリノベーションの授業が非常に興味深かったです。その他まちづくりやアーバンデザインの授業にも興味を持ちました。

#### ー所属コースでは、どんなことを学びましたか？

リノベーションや都市再生について学んできたので、卒業研究ではまちづくりに関連したテーマとして、商店街の再生について研究をしました。大きな建物の再生だけではなく、小さなまちなど細部からの都市再生も重要だと感じました。

#### ー将来の夢は？

建築家の馬場正尊さんが書かれた本を読んだことがきっかけで、よりリノベーションや都市再生に対する興味が強まりました。最終的にはリノベーションや都市再生の仕事に携わっていきたいと考えています。

#### ー関東学院大学、建築・環境学部はどんなところですか？

私は理系で入学しましたが、文系の方もウェルカムな環境なので、他大学などではあまり交流ができない文系の方と接することが出来るため、発想の違いが新鮮だったり視野が広がり刺激を受けることが出来ました。

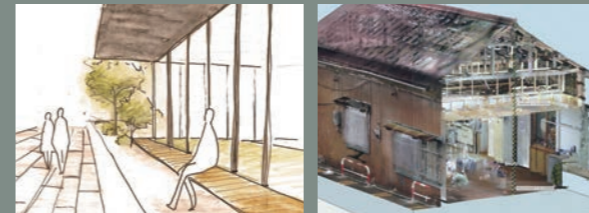
#### ー入学希望の方へメッセージをお願いします。

授業や研究室で提供されることだけではなく、自分のやりたいことを自主的に学修をしていくことが大事だと思います。

渡邊遥奈さん

#### 建築・都市再生デザインコース

建築と都市、2つの視点から、持続可能なデザインのあり方を学ぶコースです。このコースには、2つの特徴的な演習科目があります。建築再生デザインスタジオでは歴史的建物を調査して実測図面を作成し、その経験を基に再生案を計画します。都市再生デザインスタジオでは都市空間の特徴を読み取り、街の可能性を最大限に活かした再生プログラムの提案と都市デザインに挑戦します。(写真左：渡邊さんの卒業研究より、右：3Dレーザーキャナを用いた既存建物の実測調査)



## すまいデザインコース

住まいを通して現代が直面する課題を解決

住宅の設計、インテリアのデザイン、メンテナンスやリフォームなど、住まいや住環境に関することを広く深く学び、少子高齢化、家族構成や地域社会の急速な変化、情報化社会、資源・エネルギー問題など、現代社会の様々な問題の創造的な解決をめざします。

### 人間味のある“すまい”の設計を突き進めたい

#### ー建築・環境学部に入学した理由は？

昔から物理や数学が得意だったので、それを生かせる学部への進学を希望していたのですが、卒業後の進路がはっきりしていない学部は選びたくなかったことと、実家が不動産関連の仕事をしていることがきっかけで建築・環境学部を選びました。

#### ーこれまで、どんな授業に興味を持ちましたか？

設計課題全般に興味を持ち楽しくできました。その他ビルディングワークショップやファニーチャーデザインなど自分のスケールで設計できる授業が楽しく学べました。

#### ー所属コースでは、どんなことを学びましたか？

人間味のある建物を作りたいと考えていたので、規模の大きな建築だけでなく、身近で人に接する機会が多い住宅について、より詳しく、深く学ぶことができました。

#### ー将来の夢は？

一級建築士を取得して、建築家として独立したいと思っています。その第1歩としてアトリエ事務所に就職も決まりました。

#### ー関東学院大学、建築・環境学部はどんなところですか？

主体的に学んでいると、先生方のバックアップやサポートが手厚いところは非常に魅力的だと思います。また、コースが縦割りではなく横断的に学べるので、自分が専攻した分野以外にも学びやすい環境だと思います。

#### ー入学希望の方へメッセージをお願いします。

高校の部活の先輩が、「卒業したときにこの学校で良かったと誇れることが大事」とアドバイスしてくれたことが心に残っていて、そう思えるように心がけて大学生活を過ごしてきました。いま自信を持って建築・環境学部に来て良かったと言えます！志を高く持って学べば先生方も優しいですし、楽しく学ぶことができます。

土屋貴裕さん

#### すまいデザインコース

人々の日常生活の舞台である「住空間」から建築のデザインを考えるコースです。他のコースと比較して、より規模の小さい建築を主題とすることから、図面・模型は家具等のインテリア、開口部等のディテールまで、きめ細やかな表現が求められています。普段の生活の体験を見直して、快適さや使いやすさの本当の意味を考え、生活や環境の変化にも応じることができる、理想的な「すまい」のあり方を追究します。(写真左：「せんだいデザインリーグ2017」特別賞を受賞した卒業設計作品、右：3年次「住宅設計スタジオ」の優秀作品)



## 環境共生デザインコース

環境に優しく、快適な暮らしを実現

環境にやさしいビルや住宅は、どのように考えて設計したらよいか。省エネルギーやリサイクルなどを実現できる設計技術や、自然エネルギー（風・太陽光・水など）を上手に取り入れながら、建物をデザインする方法を実践的に学んでいきます。

### 建物の設備を通じて生活する人たちを笑顔にしたい

#### ー建築・環境学部に入学した理由は？

小学生の時に設計事務所に勤務している伯父が手がけた住宅を見学し感銘を受けたことがきっかけとなり、建築関係の道に進みたいと思い入学しました。また、ちょうど入学のタイミングで建築・環境学部が新設されたことも理由のひとつです。

#### ーこれまで、どんな授業に興味を持ちましたか？

空気環境や熱環境の授業に興味を持ちました。教えてくださった先生の授業が非常にわかりやすく、より興味を持ってました。

#### ー所属コースでは、どんなことを学びましたか？

パッシブデザインのスタジオで、地域の方々が集うコミュニティスペースの設計に取り組みました。設備機器の選択など実際に設計してみて、建物を建てるだけでなく室内環境や設備のことまで考えなければいけない点が新たな発見でした。

#### ー将来の夢は？

建築士を志望していたのですが、設備を学ぶにつれ新しい建物を建てていくことよりも、いまある建物を維持・管理していくことを通じて、そこで生活する人たちを笑顔にしていきたいと考えています。

#### ー関東学院大学、建築・環境学部はどんなところですか？

各分野すべてに力を入れていると感じています。学びやすい環境が整っていて、仲間も先生方のサポートも非常に手厚いです。

#### ー入学希望の方へメッセージをお願いします。

「建築をやりたい！」と思って入学をされたら、その気持ちを大切にして諦めずに学んでいけば、必ず希望が叶う場所です！よさこいサークルの副代表もやっていましたが、先生方のサポートもあり両立できました。充実した大学生活を過ごすことができると思います。

川口あいさん

#### 環境共生デザインコース

熱・光・風・音・水などの環境要素を積極的に取り入れた、省エネルギーで快適な建築・空間を考えるコースです。コース必修科目の建築環境デザインスタジオ、パッシブデザインスタジオでは、それぞれオフィスビルや公共性の高い施設などを課題に、建築・環境計画設計と給排水衛生設備、空調・換気設備、電気設備の設計に取り組みます。(写真左：設備スペースの寸法を確認、右：5号館のバラ緑化)



コース紹介 5 建築エンジニアリングコース

安全かつ長く使える建築物を設計

建物をどのように建てるか、安全は確保されているか、どのような材料を使うか、建てたあとに維持できるかなどの観点から、構造、材料、施工などの知識と技術を習得していきます。「建築構造」「建築材料・施工」の2つのサブコースに分かれます。

建築構造 サブコース

安全な建造物は正しい施工管理が重要と気がつきました

— 建築・環境学部に入学した理由は？

小さい頃から物づくりが好きで、積み木やブロックなどで建造物をつくっていたこともあり、将来は建築に携わりたいと考えていました。そこで、関東学院大学の建築・環境学部に入学しました。特に建築の中でも構造設計を学びたいと考えていて、オープンキャンパスの見学で、構造実験室の実験設備が充実していると感じました。そのことが志望した大きな理由です。

— これまで、どんな授業に興味を持ちましたか？

建築構造に関する力学理論や計算方法を学ぶ授業や、構造実験の授業が非常に興味深かったです。

— 所属コースでは、どんなことを学びましたか？

鉄骨・RC・木(住宅)など、それぞれの構造に適した図面を作成する方法を建築構造設計製図で学びました。その他構造についても学びたいと考えています。

— 将来の夢は？

入学当初から「構造設計で安全な建物を作る」ことを目指していましたが、大学にはいってからの物づくり楽しさに興味をもちました。そこで、建築現場に直接かかわることができる施工管理の仕事にたずさわりたいと考えています。

— 関東学院大学、建築・環境学部はどんなところですか？

建築というとデザインを想像する方が多いと思いますが、建築構造含めた建築にまつすべての技術について学ぶことができます。設計やデザインなど特定分野に偏ることなく学べることは他の大学にはない魅力だと思います。

— 入学希望の方へメッセージをお願いします。

大学の授業は1コマが90分あるので、高校の時とガラリと変わり大変だと感じたり、授業内容の幅広さに戸惑うこともあると思いますが、一つ一つの授業を楽しんで受けて欲しいです。

中島龍太郎さん

建築材料・施工 サブコース

最も身近に接する材料や資材の奥深さに驚きました

— 建築・環境学部に入学した理由は？

自宅の寝室・リビング・子供部屋がひとつになっている間取りだったことが、小さい頃は非常に嫌で、自分の理想とする間取りを考えていました。街中で家を見ることも好きで「このような家に住みたい!」などと考えていたこともあり建築・環境学部を選びました。

— これまで、どんな授業に興味を持ちましたか？

一番楽しくて興味を持った授業は日本建築史です。縄文時代の頃から現代まで進化する木造建築の構造に驚いたと同時に、もっと学びたいと意欲もわきました。

— 所属コースでは、どんなことを学びましたか？

デザインや間取りに憧れていましたが、材料に関する授業を学ぶにつれ、使われている材料・資材の方が人々に温かみを与えているのではないかと考えるようになりました。

— 将来の夢は？

いろいろな資材を知りたいと思っているので、建材系の商社などに入り資材に関する知識を蓄え、設計の方々に最適な資材のアドバイスなどをしていきたいです。

— 関東学院大学、建築・環境学部はどんなところですか？

すべての学生のことを把握しているのではないと思うくらい、先生方の面倒見が非常に良いと思います。新しい建物で授業を受けられるので、最新の設備などを身近に感じる事が出来る所もポイントです。

— 入学希望の方へメッセージをお願いします。

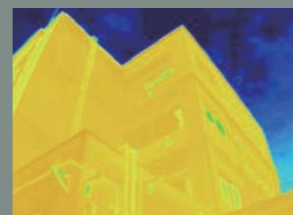
建築は大変だと言われる通り、1・2年時は確かに大変だと思いますが、3・4年になると自分が本当に学びたいと思うことをしっかりと学んでいけるので諦めずに頑張ってください。

上條結香子さん



建築構造サブコース

地震などの自然災害に強い、優れた構造性能を有する建築物を創造するための設計方法と、調査・解析・実験・開発の手法や抽出した問題の解決策を学ぶコースです。構造図による表現や、安全性の検討方法を学ぶとともに、建築現場の見学、コンピュータ解析や強度試験、ものづくり体験や実測などの多面的な学修を経て、建築物の安全性確保を通じて社会に貢献することを目指します。(写真左：ドーム建築のものづくり体験、右：円覚寺舎利殿の解析モデルCG)



建築材料・施工サブコース

建築物を長持ちさせるための材料、施工法、建築後のマネジメントなどを学ぶコースです。建築物には人間と同様にライフサイクルがあり、生まれ(新築)、生活(使用)、古い(劣化)、そして生涯を閉じます(解体)。ときに事故に遭い、病気になることも人間と同じで、適正な材料・施工だけでなく、建てた後も良い性能を継続的に維持できるような維持管理も重要です。「時間軸」とともに建築を考える方法を学びます。(写真左：軸組模型の制作、右：日射による建物温度上昇の見え方)

- 周辺環境を読み、調和する
- 自らが調整し、実践する
- 継承し、発展へと学ぶ

# 最先端の環境建築で学ぶ

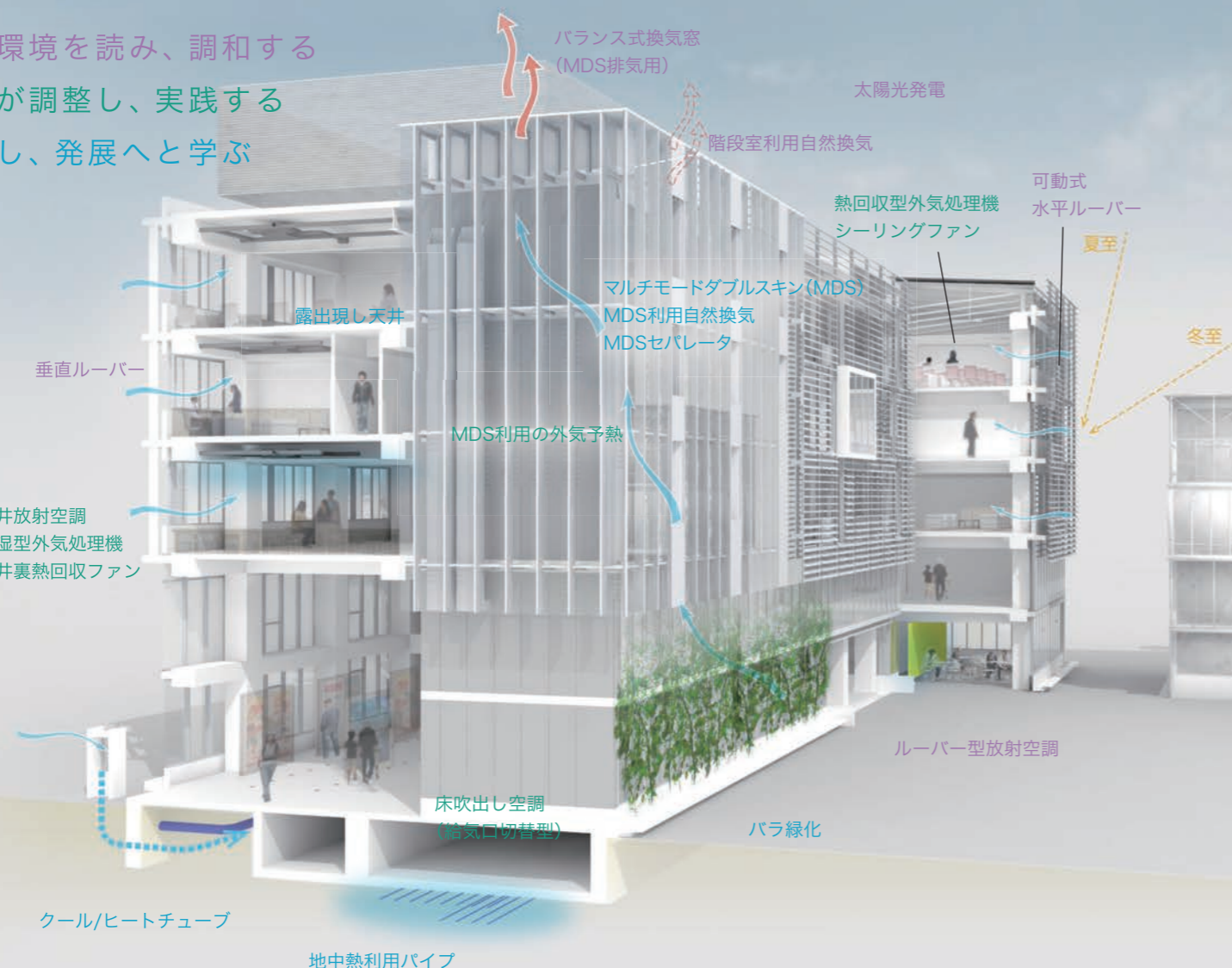
— 体験できる学修教材 —

建築を学ぶためには、デザイン、構造、材料・施工、環境・設備といった様々な分野の知識が必要です。建築・環境学部での学びの中心となる校舎（建築・環境棟）は、建物を使いながら様々な技術を学ぶ、生きた学修教材として作られています。また、先生・友人と共に様々な課題にとり組み、その成果を発表するための環境も整えられています。

建築・環境棟のデザインは、外壁面に設けられたルーバー（日除け）やガラスのダブルスキン、大空間を得るための構造的解決策など、現代の建築が要求される諸条件を矛盾なくまとめあげることで成立しています。つまり、「諸要素を創造的に統合する」という、デザイン本来の役割を実践した建築なのです。

## 建築・環境棟の受賞歴

- 2016年 第17回 JIA環境建築賞（一般建築部門 優秀賞）
- 2016年 第60回 神奈川県建築コンクール（一般建築物部門 優秀賞）
- 2016年 第31回 空気調和・衛生工学会振興賞（技術振興賞）
- 2017年 第7回 サステナブル建築賞（審査委員会奨励賞 大規模建築部門）
- 2018年 第16回 環境・設備デザイン賞建築・設備（建築・設備統合デザイン部門 入賞）
- 2018年 第6回 カーボンニュートラル賞



## 教員紹介 建築・環境学部 建築・環境学科

### デザイン分野

粕谷 淳司 カサヤ アツシ

分野 建築デザイン  
テーマ 住居系を中心とする建築・建築群および外部空間のデザインに関する研究

黒田 泰介 クロダ タイスケ

分野 建築再生計画、建築史  
テーマ 歴史的都市と建築の保存・再生・利活用計画/建築類型学による都市組織の分析

古賀 紀江 コガトシエ

分野 建築計画学  
テーマ 環境行動の視点からの高齢期生活支援の研究場所記憶に関する研究

酒谷 粹将 サカタニ スイショウ

分野 まちづくり、建築・都市デザイン  
テーマ 建築・都市デザインやまちづくりの方法に関する研究/多主体の対話を通じたデザインのプロセスに関する研究

中津 秀之 ナカツ ヒデユキ

分野 ランドスケープデザイン、都市デザイン、まちづくり  
テーマ 都市空間と人間行動の関係に関する研究/子どもの遊びに関する研究

柳澤 潤 ヤナギサワ ジュン

分野 建築デザイン  
テーマ 公共建築のデザインおよび企画・運営に関する研究

内藤 誠人 ナイトウトモヒト

分野 建築デザイン、建築計画

村山 徹 ムラヤマ トオル

分野 建築デザイン

### 構造分野

神戸 渡 カンベ ワタル

分野 建築構造、木質構造  
テーマ 木質材料の構造性能/木質構造の接合部の構造性能/ハイブリッド構造の開発

高島 英幸 タカシマ ヒデユキ

分野 建築構造、構造解析  
テーマ スペースフレーム、歴史的建築物の構造モデル化と解析/人工生命を模したアルゴリズムを用いた構造物の最適化

渡部 洋 ワタナベ ヒロシ

分野 建築構造/鉄筋コンクリート構造  
テーマ コンクリートを用いた建築物の耐震性向上

佐野 ゆかり サノ ユカリ

分野 建築構造

中村 円香 ナカムラ マドカ

分野 建築構造

### 材料・施工分野

中島 正夫 ナカジマ マサオ

分野 建築材料、建築構法  
テーマ 建築病理学の体系化/木造建築物の長寿命化

李 祥準 イサンジュン

分野 建築生産/建築経済・建築構法/FM (Facility Management)/PRE (Public Real Estate)  
テーマ 民間及び公共の施設マネジメント効率化に関する研究

増田 泰之 マスダ ヒロユキ

分野 建築生産

### 環境・設備分野

遠藤 智行 エンドウトモユキ

分野 建築環境・設備、空調設備  
テーマ 自然換気・通風の有効利用および室内温熱環境の改善手法/高効率換気システムの開発とその評価法

大塚 雅之 オオツカ マサユキ

分野 建築環境・設備、給排水設備  
テーマ 建物の水まわり・給排水衛生設備の研究/住宅の水まわり設備のリニューアルの研究

中村 秀親 ナカムラ ヒデチカ

分野 建築電気設備  
テーマ 建築物の代用接地極に関する研究

山口 温 ヤマグチ ハル

分野 建築環境・設備  
テーマ 建物の温熱環境、光環境に関する研究

呉 光正 ゴコウセイ

分野 建築設備

新明 加奈子 シンミョウ カナコ

分野 建築設備

### 共通科目

奥 聡一郎 オクソウイチロウ

分野 文体論  
テーマ コーパスを用いたテキスト分析・文体論/コンピュータを活用した英語教育

中和 渚 ナカワ ナギサ

分野 教育学  
テーマ 算数・数学教育/国際教育開発

林 裕 ハヤシ ユタカ

分野 英語学、英語教育  
テーマ 英語教育、英語語法・文法研究

## 建築展

毎年3月、横浜みなとみらいの赤レンガ倉庫1号館にて開催される「建築展」。長い伝統をもつ、建築・環境学部主催の展覧会です。模型や図面などの作品から研究論文、さらに講演会、ワークショップなどの活動まで、学部生や院生、教員、卒業生が一体となって1年間の成果を発表、毎年趣向を凝らした企画が、来場者を大いに楽しませています。学生を中心とした実行委員会が夏前から準備を始め、講演のゲストとの交渉やスポンサー探しなどにも奔走するなど、学生主体で実施される建築・環境学部の1年間の集大成のイベントです。



## 国際交流

ロシア、ハバロフスク市にある太平洋国立大学 (PNU) が主催する国際フォーラムでは、本学学生が毎年参加して、研究発表やコンペ、ワークショップを行っています。また韓国、カチョン大学・東義大学との交流では、日韓学生共同のワークショップを始め、ソウル市内に残る伝統的建築の見学やオンドル (床暖房) を体験しました。その他、看護学部と共同でハワイ・オアフ島での社会貢献活動「Serve the World in Hawaii」を実施し、台湾国立台湾科技大学とも国際交流協定 (MOU) を結ぶなど、多彩な国際交流が実施されています。(写真: インド・アフマダーバードで開催された「Archiprix International 2017」国際建築ワークショップへの参加)



## エコ・コンクリートカヌーコンペ

1977年から続いている、伝統のコンクリートカヌーコンペです。鋼製網にコンクリートを塗り込んで製作する手作りカヌーで、その速さや美しさを競います。レース会場には、大学正門の目の前を流れる侍従川の全長600mを活用。他大学の学生チームも積極的に参加します。それぞれの参加チームが自分たちの頭脳を使って設計し、自分たちの手で造ったオリジナルカヌーで競走するという形式が、学生の好奇心や工夫への努力、ものを作る喜びを刺激し続けています。



## 活躍している学生の紹介

建築系大学住宅課題優秀作品展「住宅課題賞2017」  
建築・環境学部3年 菅野楓さんが優秀賞1等に選ばれました。

「住宅課題賞」は、首都圏の建築系大学37大学48学科より設計カリキュラムの住宅課題の優秀作品48点を展示し、さらにその中から、公開審査により「優秀賞(1~3等)」「審査員賞」を選出するコンペティションです。菅野さんは課題である「都市/住宅」という抽象的なテーマと、敷地として設定され、現在、アートによるまちづくりが進められている「黄金町」(横浜市中区)という立地から、男性2人が住む家を提案し、一次審査、二次審査、最終審査を経て、見事に全作品中の最高賞(優秀賞1等)を受賞しました。

建築をキーワードに、  
グローバルな環境で空間を創造しています。

ヨーロッパの街並みが好きで修復士になりたいと思い、西洋建築史を学べる関東学院大学に入学しました。建築の必修科目を学ぶうちに、研究よりも、自分で物をつくるほうが楽しくなり、ランドスケープ(都市景観)の設計を学ぶ研究室を選択。課題に没頭して学内に長くいる時もあれば、設計事務所のアルバイトで外にいる時もあって、好奇心の赴くまま、充実した学生生活を過ごしました。多くの人と会話をしてきたことは、今でも私の助けになっています。大学院修了後、この会社を志望したのは、国内外を問わず仕事ができること。そして建築だけでなく都市デザイン、ランドスケープ、インテリアなど、多様なスケールの設計を行っていることに惹かれたからです。現在は、代表を務める光井純の師でもある建築家シーザー・ペリの事務所(米国)と共同で、都内の再開発プロジェクトを進めています。そのため渡米の機会が多く、長い時では2カ月ほど滞在することも。多忙な毎日ですが、多くの人と対話と協働を重ね、一人では成し得ない大きなプロジェクトに関わることは、この仕事の大きな喜びです。時には小さな机の角の処理をどうするかといった細かな仕上げについてを、徹底的に何日も話し合ったり、皆で一番良い答えを探そうという作業がすごく楽しいですね。今は担当した仕事と精一杯向き合い経験を重ねる日々。いつかはコンペで自分が提案したアイデアを、プロジェクトとして完成させてみたいです。

光井純&アソシエーツ建築設計事務所株式会社

安部 絵理香さん

工学部建築学科2010年卒 大学院工学研究科2012年修了



学生時代の産学連携プロジェクトへの参加は、  
とても貴重な体験でした。

大学3年生の時、ゼミの先生と大学院の先輩と一緒に、民間企業と連携した「エネマネハウス」\*というプロジェクトに参加しました。「学生が考える将来の家」をテーマに、全国から選ばれた5大学が、先進的な技術や新たな住まい方、省・創エネを実現するモデル住宅を提案しました。実際に建築まで行ったのですが、これは楽しくて貴重な経験でした。また、設計の授業では、内装まで作りこんだ模型や写真を使って作品へのこだわりを伝えるプレゼンテーションに取り組み、この経験はお客様に分かりやすい図面を作成する必要がある今の仕事にも役立っています。現在、土地から建築までのトータルプロデュースを行う部署で、商業施設や工場などの図面を作成しています。自分の描いた図面が建物になるまでの工程を見ることが出来るので、非常にやりがいを感じます。図面を作成していく中では、まだまだ知識が足りないと感じる面も多く、毎日が勉強です。建築は生活に欠かせないものであり、住宅は一生に一度の買い物です。これからもお客様のパートナーとなり、より良いものを提案できるように幅広い知識を身につけ、私が設計を担当して良かったと思ってもらえる仕事をしていきたいです

\* 2015年度 経済産業省資源エネルギー実施事業において、優秀賞、特別賞(環境未来賞)を受賞

大和ハウス工業株式会社

関 美沙希さん

建築・環境学部2017年卒

